

## 第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

アドベンチャーワールド  
飼育部ふれあい課  
吉峯ゆかり

### 1. 単元名 ウミガメと私たちの未来

#### 2. 単元の目標

○ウミガメの生態や現状を観察や講話から学び、まとめることができる。

(知識および技能)

○ウミガメ上陸回数などのデータから現状について正しく理解することができる。

(思考力・判断力・表現力など)

○ウミガメを守りたいという目的意識を持ち、意欲的にボランティアスタッフと関わったり、明日から取り組むアクションを発表したりすることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

#### 3. 単元について

##### (1)教材観

本単元では、和歌山県みなべ町のウミガメ保全の取り組みを教材として取り上げる。

和歌山県みなべ町「千里の浜」は本州最大のアカウミガメの産卵地であり、長期にわたり研究機関により調査が行われている貴重な地域である。豊かな自然を守ることの意義や研究機関・地元住民・ボランティアスタッフとの協力体制の重要性を学び、自分たちができることを提案する。

##### (2)児童観

本学校の児童は、第3・4学年の社会科において自然環境や文化などの資源を保護・活用している地域について学習している。また理科および道徳の授業において自然環境の偉大さを知り、自然環境を大切にすることの意義を学んでいる。今回は和歌山県みなべ町のウミガメ保全について学習することで、環境保全の重要性を身近に感じ、主体的に考え、行動する力を育む。

##### (3)指導観

本単元の指導にあたっては、まず串本海中公園に行き、実際にウミガメを観察する。キーポイントとなるウミガメに興味を持ってもらい、飼育スタッフとの質問タイムや餌あげ体験などの機会を設け、楽しみながら学ぶ。

次に、授業で南部町「千里の浜」に上陸するウミガメの写真と千里の浜の上陸回数のグラフを提示する。このことを通して、みなべ町でウミガメの産卵が行われていること、上陸回数が減少していることに気づかせる。なぜ減少しているかこの段階で予想を立てさせることでウミガメへの興味と危機意識をもたせたい。

そして、本州最大のウミガメの産卵地であるみなべ町「千里の浜」に行き、現地の様子を知る。ポイ捨て禁止やウミガメ上陸時の侵入禁止についての看板を見ることで、なぜ注意喚起が必要なのか考える。また、自然豊かな海や森を実際に見ることで環境保全の重要性を意識させる。その際に「みなべウミガメ研究班」スタッフのレクチャーを聞くことでウミガメ保全の取り組み内容や地域住民と研究機関の協力体制

について学び、ウミガメには様々な立場の人がかかわっていることを理解してもらおう。一般人向けにウミガメ観察会を実施している話を聞き、エコツーリズムの可能性も学ぶ。

最後に、私たちとウミガメが共存するためには何ができるのかをポスターにまとめて発表する。この時、他人事ではなく、自分の行動が自然環境や生き物に影響することを理解してもらおう。また、自分だけではなく学校全体で何か取り組めることはないかも考える。

応用としてウミガメ以外の生き物についても同様に抱えている問題や人間との関係性等について調べるとより深い学びに繋げることができる。地元のアドベンチャーワールドを訪れ、興味を持った動物について観察や調べ学習を行い、ポスターにまとめて発表するとより視野が広がるのが期待できる。野生動物の生息地の文化や暮らし、貧困問題等について生き物と関連づけて学習することで、世界の繋がりを意識することができる。

#### (4)ESDとの関連

##### ・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

相互性…ウミガメが抱えている問題は複雑で様々な問題が絡み合っている。

ウミガメには様々な立場の人がかかわっている。

連携性…研究機関・地元住民・ボランティアスタッフとの協力体制の重要性を学ぶ。

責任性…自分の行動が自然環境の未来にかかわっていることを学び、自分の行動に責任を持つ。

##### ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

多面的・総合的に考える力

ウミガメが抱えている問題は複雑で様々な問題が絡み合っている。

どれか一つだけ解決しようとするとなんだか新たな問題がうまれる。

バランスを考え、様々なケースを予想しながら考える力が必要。

つながりを尊重する態度

一人では問題は解決できない。様々な立場の人が問題に関与していることを知り、

それぞれの人の気持ちを想像し理解を得て協力してもらうことの重要性を学ぶ。

進んで参加する態度

自分の行動が自然環境の未来にかかわっていることを学び、自分の行動に責任を持つ。

どうすべきか自分でアクションを考え、実行する。

##### ・本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正・世代内の公正

ウミガメが上陸する「千里の浜」の環境を将来に残していく価値のあるものだと気づく。

トレードオフ

動物の抱えている問題は要因が複雑に絡み合っている。

どれかひとつだけを解決しようすると、必ず壁に当たり新たな問題が生まれてしまう。

それぞれの問題を深く理解し、折り合いをつけながら解決策を探る必要がある。

自然環境、生態系の保全

自然環境、生態系を守ることは、自分たちの生活を守ることになる。

#### 4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>①ウミガメの生態や抱えている問題について理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識を言葉や図、絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>①ウミガメ上陸回数などのデータから現状について正しく理解し、課題を見いだすことができる。</p> <p>②ウミガメについて学んだことや自分にできることをポスターに表現することができる。</p>	<p>①ウミガメを守りたいという目的意識を持ち、意欲的に観察や調べ学習に取り組んでいる。</p> <p>②未来のために自分にできることを考え、実行しようとしている。</p>

#### 5. 単元の指導計画(全16時間)

学習活動	学習への支援	評価 備考
<p>1 ウミガメの生態について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって泳いでいるのだろうか？</li> <li>・野生ではどんなものを食べているのだろうか？</li> </ul>	<p>○串本海中公園に行き、ウミガメを実際に観察する。</p> <p>飼育スタッフに疑問点等を質問することを提案する。</p>	<p>ア① (知・技)</p>
<p>2 ウミガメの上陸回数のグラフをもとに、ウミガメの現状の把握・未来を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上陸回数がどんどん少なくなっている。</li> <li>・このままではウミガメがいなくなってしまうのではないか？</li> <li>・なんで減っているのだろうか？</li> </ul>	<p>○南部町「千里の浜」のウミガメ上陸回数のグラフを提示し、ウミガメの上陸回数が減少していることを把握させるとともに、理由も考えさせる。</p>	<p>イ① (思・判・表)</p> <p>ウ① (主体的)</p>
<p>3 ウミガメの産卵地を見に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール看板がたくさんある。</li> <li>・なんでルールが多いのだろうか？</li> <li>・キレイな海と森。自然が守られている。</li> <li>・ウミガメ観察会参加してみたいな</li> </ul>	<p>○南部町「千里の浜」に行き、産卵地の様子を知る。</p>	<p>ア① (知・技)</p> <p>ウ① (主体的)</p>
<p>4 ウミガメが抱えている問題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが出すゴミはウミガメに関係している。</li> <li>・ウミガメを守るために様々な立場の人が協力している</li> </ul>	<p>○「みなべウミガメ研究班」のボランティアスタッフのレクチャーを聞く。</p> <p>○ウミガメ調査の重要性や地元住民の協力体制について現場の生の声を聞く。質疑応答も行う。</p>	<p>ア① (知・技)</p> <p>ウ① (主体的)</p>

<p>5 ウミガメのために私たちにできることをポスターにまとめて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは多くの人に現状を知ってもらいたい。</li> <li>・砂浜のゴミ拾いボランティアに参加してみようかな。</li> <li>・学校全体で何かに取り組めないかな？</li> <li>・ほかの生き物のケースも考えてみたいかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私たちとウミガメの共存について未来を想像させる。明日から取り組めるアクションとその理由をポスターにまとめて発表する。</li> <li>○他人事ではなく、自分の行動が自然環境や生き物に影響することを理解してもらう。</li> <li>○学校全体で取り組めることがないかも考える。</li> <li>○応用として、他の生き物について同様に調べ学習を行い、発表する。</li> </ul>	<p>ア②(知・技)</p> <p>ウ② (主体的)</p> <p>イ① (思・判・表)</p> <p>イ② (思・判・表)</p>
---	--	--